

第3章 2025 年度事業計画

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

概 要

わが国の景気は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかに回復が続くことが見込まれています。しかしながら、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や、アメリカの通商政策動向による影響などが景気を下押しするリスクとなっており、予断は許さない状況が続くとみられています。

このような状況下、当協会では「2022～2024 年度 第 3 期 中期運営計画」に続き、新たに「第 4 期 中期運営計画(2025～2027 年度)」を策定し、以下の重点活動目標を掲げました。

1. 会員企業の満足度向上(分科会、各種セミナー、POWTEX の進化など)
2. 協会知名度の向上(広報普及活動の強化など)
3. 運営の強化(組織および人材など)

本年度は第 4 期中期運営計画の初年度として、これらの目標を基本にした活動を行い、当協会の目的である「粉体に関する鉱工業技術開発および普及を通じて粉体関連工業の発展を図り、もってわが国経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する」ことを目指しています。

1. 活動計画

1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

分科会活動は協会活動の中核であり、各分科会は粉体技術の発展と普及を目指すために、今年度も産学官が協力して産業界に貢献できる活動を推進していきます。分科会運営委員会は、分科会が将来に向かって順調に発展できるような体制づくりを行い、組織および運営の充実化を支援します。

技術委員会では、AI 技術利用委員会が今年設立 5 年目を迎え、これまでに収集された情報を基に中間報告資料を作成し、次年度に POWTEX の「AI 技術利用セミナー」で公開する予定です。また、AI ソフトウェア実習講座も継続し、ChatGPT をはじめとする大規模言語モデル(LLM)などの AI 技術の企業内活用も推進します。

1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、産学官連携)

(1) 技術情報の発信

2025 年度も協会会員のニーズを十分反映し、粉体関連分野に関わる一般読者にも充実した情報を幅広く提供する「粉体技術」誌を目指し活動します。好評を得ている取材・収録記事企画に注力し、粉体業界の底上げに貢献するとともに業界内の交流の場、粉体工学のすそ野を広げる場としても「粉体技術」誌を活用していただけるよう知恵を絞り編集に取り組みます。また、読者の多様なニーズに対応するために、コラムなどの技術記事以外の内容も充実させ、魅力ある粉体技術誌の編集を進めていきます。

なお、情報発信のサービス向上を目的として、ホームページやメールマガジンの活用や改善、粉体技術総覧 Web 版の活用なども進めます。

(2) 産学官連携

POWTEX®2025 の併催イベントとして、大学や公的研究機関と連携し、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイダンス、PX フォーラム、APPIE 産学官連携フェア 2025、テクノマルシェ(名刺交換会)の開催を予定しています。

また、同展示会において「技術相談コーナー」を開設して、大学や公的研究機関の研究者が企業からの技術相談に応じるほか、産学技術交流推進部門は常時ホームページ上で協会内外からの粉体技術に関する相談を受け、大学や研究機関へ橋渡しする役目を果たしていきます。

1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

粉体入門セミナー、粉体技術者養成講座などを中心に以下の講座、セミナーの開催を予定しています。

- ・粉体入門セミナー（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）
- ・粉体技術者養成講座（7 講座）
- ・粉体技術専門講座（2 講座） 混合・成形分科会、集じん分科会
- ・粉じん爆発・火災安全研修（初級基礎編）【ハイブリッド】

1-4 規格・標準化事業（標準粉体、規格、粉じん爆発）

- ・標準粉体委員会
JIS Z 8901 の改正作業は、出来上がった改正 JIS 原案の骨子を規格委員会を通じて日本規格協会に提案し調整を進めます。
- ・規格委員会
2 件の継続 JIS 原案（Z 8820-1、Z8830）を日本規格協会へ提出し、新たに 3 件の JIS 原案作成委員会を立ち上げます。
- ・粒子特性評価委員会
第 69 回 ISO/TC 24/SC 4 国際会議（英国）へ出席し、国際規格作成に参画します。
- ・ふるい委員会
ISO/TC24/SC8 試験用ふるい及び工業用ふるいの国際会議が開催される場合は、出席します。
- ・集じん技術委員会
昨年度に引き続き、「ろ布の帯電性能・難燃性能評価試験法」など 2 件の国際規格開発を行います。第 21 回 ISO/TC 142 国際会議（イタリア）へ出席し、国際規格作成に参画します。
- ・粉じん爆発委員会
粉じん爆発・火災安全研修【初級】、および POWTEX2025 の併催行事である粉じん爆発情報セミナーを開催します。

1-5 海外交流事業（海外交流）

韓国の KOREA CHEM、米国・シカゴの iPBS、中国・上海の IPB、独・ニュルンベルクの POWTECH には、相互協力契約に基づいて交換ブースを出展します。
海外情報セミナーを企画し、POWTEX®2025 にて開催します。

1-6 展示会事業

POWTEX®2025 を 10 月 15 日（水）～10 月 17 日（金）、インテックス大阪 4・5 号館にて開催します。200 社/600 小間の規模で開催予定です。本展示会では「未来をつくる PX ～粉体技術で描く未来社会のデザイン～」をテーマに掲げ、PX フォーラム、粉体機器ガイダンス、各種セミナー、製品技術説明会、技術相談、学生交流会、産学官連携など多くの併催行事を計画しています。また、前回からスタートした PX ステーションは、更なる進化を目指し、その他新企画「イチオシ！」も検討します。

前回同様、展示会場でのリアル展示会と併せてオンライン展示会を 10 月 1 日（水）～11 月 14 日（金）に開催します。

1-7 会員共益事業（技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成）

以下の活動を通じて、会員相互の親睦と技術情報交流、人脈形成などの促進を図ります。

- ・技術情報交流懇話会：火曜会（東京 4 回）、水曜会（名古屋 3 回）、木曜会（大阪 3 回）、金曜会（福岡 2 回・広島 1 回）を開催します。
- ・推薦審査委員会：分科会功労賞、分科会技術賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者賞の審査・推薦および個人会員・名誉個人会員・会友の入会審査を行います。
- ・人材育成委員会：「若手のつどい」を 4 回開催し、POWTEX®2025 に併せ、学生ツアーの企画・運営を行います。